しが労福協

No.26

豊かなくらし

第761号《改題26号》
2026年7月1日 発行
発行人（一社）滋賀県労働者福祉協議会
専務理事　山本　俊夫
〒520-0806
大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階
電　話　077-524-6290
ＦＡＸ　077-523-4070
URL https://s-rofuku.com/
E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
印刷所　ユ'メディア株式会社

滋賀県労福協 第70回定期総会 を開催

『貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会』をめざして

5月25日（月）、コラボしが21大会議室にて、一般社団法人滋賀県労働者福祉協議会「第70回（第18期）定期総会」を開催しました。本年度は、1956年7月2日（昭和31年）に滋賀県勤労者福祉対策協議会として発足して以来、70年を迎える節目の総会となりました。

来賓として、三日月大造滋賀県知事代理の岸本織江副知事、退職者連合の田中清道会長、あしたば会の大谷和雄副会長にご臨席いただき、ご祝辞を賜りました。

総会は、16名の代議員（うち1名は委任状提出）に加え、各会員団体からの傍聴者も参加する中、佐賀春樹副会長の司会進行のもと、高島労福協の竹内幸男代議員（高島労福協理事）が議長に選出され、議事が進められました。

総会冒頭、白木宏司会長より、「戦後の混乱期に『福祉はひとつ』という精神のもと始まった労福協は、様々な困難を乗り越えながら『誰一人取り残さない』という思いを大切に、70年の歴史を歩んできた。『支え合い』と『助け合いの輪』を地域に広げることが労福協活動の原点であり、変化の激しい時代の中で、福祉を“難しいもの”ではなく、日々の暮らしを支える“身近で楽しいもの”として共有できる場を目指し、多様な主体との連携を深め、誰もが安心して働き、暮らし、つながることができる社会の実現に向けて取り組んでいきたい」と挨拶がありました。

議案審議では、山本俊夫専務理事より、第1号議案「2025年度活動報告」が提案され、主な取り組みとして、第70回滋賀県勤労者美術展での70回記念特別展「滋賀と戦争」の開催、多様な団体と連携して実施したびわ湖クリーンキャンペーン・夏休み子ども文化教室・生活応援セミナーなどの事業、さらに本年実施予定の70周年記念事業の準備状況について報告がありました

続いて、第2号議案「2025年度決算報告」および伴幸士監事による「監査報告」が行われ、いずれも拍手多数により承認されました。

第3号議案「2026年度活動方針」と第4号議案「2026年度予算」についても山本専務理事より説明があり、拍手多数にて確認されました。さらに、第5号議案「役員報酬案」、第6号議案「役員補充」も提案され、すべての議案が満場一致で承認されました。

最後に竹内議長より「第70回（18期）定期総会スローガン」が力強く読み上げられ、総会は閉会しました。

＜第70回（18期）定期総会スローガン＞

★70年の歩みを次世代に「つなぐ」・「つながる」運動の強化で、地域共創社会を実現しよう！
★社会的セーフティネットを強化し、誰一人取り残さない共生社会を実現しよう！
★平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会を実現しよう！
★労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げよう

本年度は、11月23日（月・祝）に草津市立滋賀トヨタアリーナにて実施する、設立70周年記念事業「つながる！しが 福祉フェスタ」の開催を中心に活動を展開してまいります。多くの団体の皆様のご協力や、お子様を含む地域の皆様のご参加を得て、「つながり」を実感できる福祉イベントとしたいと考えております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、総会にて新しく承認された第18期役員は以下のとおりです。

【第18期 新役員のご紹介】

清水卓也副会長

師玉憲治郎理事

太田恵理事

山中幸次理事

TOPIC 1　（一社）滋賀県労働者福祉協議会

第97回「滋賀県労働者統一メーデー」　～滋賀県内4か所にて同時開催!!～

2026年4月25日（土）、「第97回滋賀県労働者統一メーデー」が開催されました。

今年のメーデーは、「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来　真の働き方改革で、安心して暮らせる社会を!」をスローガンに掲げ、働く仲間の連帯を深めるとともに、労働条件の向上や、平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして行われました。

本年度の中央集会は、連合滋賀第3区地協、草津栗東地区労福協、守山野洲地区労福協の合同で、栗東芸術文化会館さきらにて開催しました。会館内「さきらシンボル広場」で行われた式典には、組合員とご家族あわせて約1,000名の皆さまにご参加いただきました。

式典には、三日月大造滋賀県知事、河合昭成衆議院議員をはじめ、連合滋賀議員団や事業団体の皆さまにもご臨席いただき、お祝いの言葉を賜りました。後半では、メーデースローガンとメーデー宣言を全員で確認し、福祉施設へのチャリティ贈呈、連合3区地協・田代議長によるガンバロウ三唱、草津栗東地区労福協・山中会長の閉会挨拶で式典を締めくくりました。

式典後に開催した第30回「ひと・自然・やすらぎ」フェスタでは、近畿労働金庫草津支店が応援するNPO豊穣の郷・目田レンジャーさんのアピール、大道芸人・丸ちぇろさんのパフォーマンスなど、ステージイベントが会場を盛り上げました。さらに、忍びトレインや射的、さまざまな飲食ブースが並び、子どもたちの笑顔があふれるひとときとなりました。恒例の抽選会では、企業や労働組合から提供いただいた協賛品をはじめ、多くの賞品が並び、会場は歓声に包まれました。また受付では、「フードドライブ」や「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト（はぐプロ）」への支援物資・支援カンパのご協力もいただきました。ご参加いただいた皆さま、そして運営にご尽力いただいたスタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

～第97回「滋賀県労働者統一メーデー」地区集会の様子～

1区　大津・高島

第97回滋賀県労働者統一メーデー大津・高島地区集会を、4月25日（土）に開催しました。

当日は、大津地区労福協、高島労福協、連合滋賀1区地協の合同開催として、多くの組合員・家族・地域住民の参加のもと、働く者の連帯と地域のつながりを確認する集会となりました。

式典では、主催者あいさつに続き、ご来賓から激励と連帯のごあいさつをいただき、物価高騰や人手不足、働き方改革など、働く者を取り巻く課題について認識を共有しました。

今年のメーデーでは、「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来　真の働き方改革で、誰もが安心してくらせる社会を!」をスローガンに掲げ、2026春季生活闘争の前進、賃金の底上げと格差是正、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた決意を共有しました。

また、能登半島地震をはじめとする自然災害への復興支援や、防災・減災の取り組みの必要性についても確認し、地域社会における「共助」の輪をさらに広げていくことを誓い合いました。

集会の最後には、参加者全員でメーデー宣言を採択し、誰一人取り残されることのない社会の実現に向け、「団結ガンバロー」で意思統一を図りました。今後も、大津地区労福協、高島労福協、連合滋賀1区地協が連携し、働く者・生活者に寄り添った運動を進めるとともに、安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいきます。

2区　彦根・湖北

4月25日（土）、米原学びあいステーションにおいて、連合滋賀第2区地域協議会および湖北・彦根地区労福協の合同による「第97回滋賀県労働者統一メーデー湖北・彦根地区集会」を開催しました。　組合員とご家族を中心に、500名を超える皆さまにご参加いただき、盛大な集会となりました。

第1部の式典は、彦根地区労福協　松野祐樹会長による主催者代表挨拶から始まりました。続いて、各市町の首長をはじめ、連合滋賀議員団や事業団体など多くのご来賓の皆さまより、お祝いの言葉を頂戴しました。スローガンおよびメーデー宣言は、参加者の満場の拍手により採択され、最後に連合滋賀第2区地協　石原崇弘議長の発声によるガンバロー三唱、湖北地区労福協　清水卓也会長の閉会挨拶をもって式典を締めくくりました。

イベント会場では、レイカディアえにしの会の皆さまによる「バルーンアート」や「折り紙細工」が大変好評で、多くの親子連れで賑わいました。

続く第2部の恒例「お楽しみ抽選会」では、当選番号が読み上げられるたびに会場が大いに盛り上がり、参加者の皆さんに喜んでいただける時間となりました。

また、受付では「フードドライブ」や「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト（はぐプロ）」への支援カンパにも多くのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

4区　湖南甲賀・近江八幡・東近江

連合滋賀第4区地協、近江八幡地方労福協、東近江労福協、湖南甲賀地区労福協の合同により、第97回滋賀県4区労働者統一メーデーを近江八幡市文化会館にて開催しました。組合員とご家族あわせて750名の皆さまにご参加いただき、盛大な集会となりました。

第1部の式典では、各市町の首長をはじめ、連合滋賀議員団や事業団体の皆さまにもご参列いただき、お祝いの言葉を頂戴しました。その後、メーデースローガン、メーデー宣言を参加者全員で確認し、最後は連合滋賀第4区地協　居原田議長の発声によるガンバロー三唱で式典を締めくくりました。

続く第2部のイベントでは、UAゼンセン所属タレント　星野泉水さん　によるものまねステージを開催し、会場全体が大いに盛り上がりました。

集会の最後には、話題の賞品を多数取りそろえた恒例の抽選会を行い、当選者からは歓喜の声が上がりました。屋外会場では、射的、輪投げ、親子で楽しめるものづくりコーナー、食品販売コーナーなどを設け、多くの親子連れで賑わいました。また受付では、「フードドライブ」や「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト（はぐプロ）」への支援カンパをいただきました。

ご参加いただいた皆さま、そして運営にご協力いただいた役員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

TOPIC 2

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト（はぐプロ）」へ支援カンパを全額寄付しました!

2026年4月25日（土）に開催された第97回滋賀県労働者統一メーデー4会場において、滋賀県社会福祉協議会が主催する『子どもの笑顔はぐくみプロジェクト』への募金活動を行い、総額64,064円のご協力をいただきました。お預かりしました寄付金は、第97回滋賀県労働者統一メーデー実行委員会・白木宏司委員長より、6月5日（金）に贈呈いたしました。ご対応いただきました市川忠稔会長、そして、ご協力いただきました皆さまの温かいご支援に心より御礼申し上げます。

～『子どもの笑顔はぐくみプロジェクト』～

子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめる応援団をつくるプロジェクトです!
寄付金は、滋賀県内200ヶ所以上にひろがる「遊べる・学べる 淡海子ども食堂」の継続的な運営のバックアップなどに役立てられています。

TOPIC 3

滋賀県労福協設立70周年記念イベント「つながる!　しが福祉フェスタ」を開催します!

滋賀県労働者福祉協議会は、2026年に設立70周年を迎えます。これまで「福祉はひとつ」の精神のもと、働く人々や地域を“つなぐ”役割を担ってきました。この節目の年に、県民の皆さんとともに未来の福祉を描く大イベント「つながる!しが福祉フェスタ」を開催します。

会場となる「草津市立滋賀トヨタアリーナ」では、子どもから大人まで一日中楽しめる多彩な企画が盛りだくさん。メインアリーナでは、迫力ある近江高校吹奏楽の演奏やびわこ成蹊スポーツ大学「びわスポキッズプログラム」、パラスポーツ体験など、見て・触れて・感じるプログラムが展開されます。サブアリーナには、暮らしや労働に役立つ相談・体験ブースが並び、ワークルールクイズや防災・医療福祉・食に関する日常生活に役立つ情報も気軽に学べます。子ども向けの体験コーナーも充実し、未来の仕事や地域の魅力に触れられる内容となっています。さらに、琵琶湖をはじめとする滋賀の自然環境をテーマにした学びのブースも登場し、楽しみながら環境問題への理解を深めることもできます。

屋外エリアにはキッチンカーが並び、家族で楽しめる“おいしい時間”もご用意。特別企画‼スペシャルゲストや、着ぐるみたちも皆さんのご来場をお待ちしています。

本フェスタは、働く人々が主体となり、多様な団体・市民と協力してつくり上げる“共創の場”。世代や立場を超えてつながり、支え合う地域社会の姿を体感できる一日です。参加費は無料。

ぜひ、ご家族やご友人、地域の皆さまとともに、労働者による未来へつながる福祉の祭典をお楽しみください。

開催日：2026年11月23日（月・祝）10:00～15:00
会場：草津市立滋賀トヨタアリーナ
※メインアリーナでのスポーツ体験には上靴が必要です。各自ご持参ください

〈出展ブースをご紹介!〉
こくみん共済 coop 滋賀推進本部　～「VRゴーグルによる災害疑似体験」などを実施予定!～

こくみん共済 coop 滋賀推進本部では、滋賀県労福協70周年記念イベント『つながる!しが福祉フェスタ』において「VRゴーグルによる災害疑似体験」「新聞紙を使った防災スリッパ作り体験」「運転シミュレーター体験」を実施する予定です。

VR体験では臨場感のある映像を通じて地震や洪水の恐ろしさを疑似体験でき、防災意識の向上につながります。また、新聞紙を使った防災スリッパ作りでは、身近な新聞紙を使い、災害時にガラス片やがれきから足を守るための実践的な工夫を、楽しみながら学ぶことができます。子どもから大人まで幅広くご参加いただける内容となっておりますので、ぜひお気軽にお越しください。

運転シミュレーター体験では実際の運転に近いリアルな環境で、安全に楽しく運転技術を学べます。初心者の方からベテランドライバーまで、どなたでもご参加いただけますので、ぜひこの機会にご体験ください。

TOPIC 4

滋賀県労働福祉事業団体ＯＢ会「あしたば会」2026年度総会を開催します

滋賀県労福協が事務局を務める滋賀県労働福祉事業団体OB会「あしたば会」は、1994年の発足以来、長年にわたり労働組合・労働福祉活動に携わってきた仲間が、退職後もつながりを保つための組織です。

発足当時の1994年は、名古屋空港での航空機事故や1ドル＝100円台への突入、記録的猛暑や税制改革など、社会・経済が大きく揺れ動いた年でもありました。その激動の時代を第一線で支えてこられた会員の皆様は、現在も滋賀退職者連合や事業団体、労福協と連携し、各種事業への助言や子ども支援・ボランティア活動などに力を注いでくださる心強い存在です。

本年度のあしたば会総会は、2026年8月28日（金）午前11時より（10時30分より受付開始）は、新しく生まれ変わった「ライズヴィル都賀山」にて開催します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

↑ライズヴィル都賀山ホームページ

TOPIC 1

近畿労働金庫滋賀地区本部

滋賀地区各支店で推進委員会・全体会議を開催しました!!
～「生活応援運動の拡大、金融DXへの挑戦」を全体で確認～

2026年度の推進委員会・全体会議が各支店で開催され、2025年度の業務概況報告及び第28回通常総会予定議案、2026年度事業計画等についてご論議いただきました。

2026年度は第9次中期経営計画の最終年度として、3カ年のテーマである「会員との深いつながり」を何よりも大切にし、「誰もがアクセスできる金融」の総仕上げに向けて、会員・はたらく人びと・地域社会から必要とされる存在であり続けるための『生活応援運動の拡大』と『金融DXへの挑戦』を重点取組みとして「助け合いの金融」を実践していくことを確認いただきました。

TOPIC 2

こくみん共済 coop〈全労済〉滋賀推進本部

児童向け図書（絵本）を寄贈しました！

滋賀県勤労者共済生活協同組合（こくみん共済 coop 滋賀推進本部）では、社会貢献活動として「滋賀県立図書館」への児童図書（絵本）の寄贈を行っています。

本年も、「地域・社会への感謝」を込めた継続的な社会貢献活動として、児童向け図書（絵本）・74冊を寄贈いたしました。寄贈した図書（絵本）は、県立図書館・児童室にて展示され、多くの来館者にご利用いただいています。

滋賀県勤労者共済生活協同組合（こくみん共済 coop 滋賀推進本部）は、これからも社会貢献活動として、頻発する自然災害から身を守る「防災・減災」の取り組み、子どもたちを事故から守っていく「7才の交通安全プロジェクト」、子どもたちのすこやかな成長を応援する「こどもの成長応援プロジェクト」などをさまざまな活動を展開していきますので、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

TOPIC 3

滋賀県勤労者住宅生活協同組合

学生団体と紡ぐ未来　～地域企業と建築を学ぶ学生をつなぐ就職イベント開催～

滋賀県住宅生協と協力業者組織「TCS会」は、2021年より立命館大学の「学生団体Clown」が取り組む地域活性化活動（ツリーハウスを建築し地域へ開放）を支援しています。この連携を原点に、地元に拠点を置く企業と学生をつなぐ第3回合同企業説明会を開催しました。

当日は、学生自身が会場設営やグループ誘導を行う手作りの運営スタイルの中、全6部にわたるブース訪問形式で活発な質疑応答が展開されました。大手志望が多い学生へ地域企業の魅力をダイレクトに伝える、きわめて有意義な機会となりました。

なお、運営の剰余金は、地域を笑顔にするClownの今後の活動費として全額寄付されています。

2026年4月開催概要
- ○日時・場所：2026年4月19日（日）/ コラボしが21 3階
- ○参　加　者：立命館大学の学生　約50名
- ○参加企業：滋賀県住宅生協TCS会6社

TOPIC 4

滋賀県生活協同組合連合

「2026年度能登半島地震による被災者支援ボランティア活動」

近畿地区生協が連携して、6月を除く5月～11月までほぼ毎週ボランティアでサロン活動を実施しています。5月23日（土）～24日（日）は滋賀と大阪・高知の生協と共に輪島市の町野地区でのボランティア活動を行いました。

初日は能登で活動されている「NGO結」さんからの能登の現状や被災者の想いの話を聴き、翌日のサロン活動のチラシ配布の個別訪問を行いました。

2日目は、サロン活動として、たこ焼きを一緒に焼きながら、地元被災者の想いや願いを聴きながら、交流をすすめました。「支援する、提供する」ではなく、「一緒につくり、学ぶ」ことで地元の自立につながる支援を継続し、今後9月・11月にも実施します。

TOPIC 5

「第71回滋賀県勤労美術展」を開催します！～誰もが参加できる、開かれた美術展を目指して～

「第71回滋賀県勤労者美術展」は、2026年7月23日（木）から26日（日）まで、ショッピングセンター・エイスクエア内『APLACE』にて開催いたします。

本年度より、文化芸術をより身近に感じていただけるよう、また創作発表の場としてだけでなく、世代や立場を越えた交流や文化を楽しむ場となるよう、気軽に立ち寄れる会場へと開催場所を変更いたしました。今回は入賞作品のみの展示となりますが、お買い物やお出かけの際にご家族やご友人とともにお立ち寄りいただき、芸術作品に触れるひとときをお楽しみいただければ幸いです。

なお、会期最終日には表彰式および審査員による講評会を実施いたします。席に限りはございますが、どなたでもご参加いただけます。

本美術展が、皆様の笑顔あふれる場となりますよう、心よりご来場をお待ちしております。

開催日程などの詳細は、以下をご参照ください。

「第71回滋賀県勤労者美術展」（書道・写真・絵画・工芸手芸の4部門）開催期間および開催場所

美術展

①開催期間　2026年7月23日（木）～7月25日（土）：10時00分～17時00分
　　2026年7月26日（日）：10時00分～13時00分
②開催場所　ショッピングセンターエイスクエア内　「ＡＰＬＡＣＥ」
　　（〒525-0025　滋賀県草津市西渋川1-23-1　SARA東館２Ｆ）
③作品展示　展示作品は、入賞作品のみとします

こちらから入賞作品を確認いただけます↑
※書道の部以外の発表は、
7月6日（月）11:00AM発表です

表彰式・作品講評

①開催日時　2026年7月26日（日）14時30分～16時30分（14時10分より受付開始）
②開催場所　ショッピングセンターエイスクエア内「ＡＰＬＡＣＥ」
③次　　第　1部：【表彰式】賞状・副賞授与（特選（県知事賞、労福協会長賞）・優秀賞・審査員特別賞）
　　2部：【作品講評】各部門審査員より出品作品について講評

TOPIC 6

中央労福協 2026年度全国研究集会に参加しました！

2026年6月2日（火）、宮城県仙台市の東京エレクトロンホール宮城において、労働者福祉中央協議会主催の「全国研究集会2026 in MIYAGI」が開催されました。今年のテーマは「Re:BUILD ～災害に対する社会のこれからを考える～」で、東日本大震災をはじめとする災害の経験を踏まえ、復興と伝承の視点から、これからの地域づくりや防災のあり方について考える集会となりました。

滋賀県からの参加者は、集会前日の独自研修として、陸上自衛隊仙台駐屯地を視察しました。駐屯地内の防衛館では、仙台駐屯地の歴史や東日本大震災発生時の対応について説明を受けました。災害発生時の活動記録や当時の状況に関する展示を通じて、震災対応の一端を学ぶとともに、災害時における多様な関係機関の役割について考える機会となりました。

集会当日の午前には仙台市若林区の荒浜地区および震災遺構である荒浜小学校を見学しました。津波によって校舎2階まで浸水した痕跡や、地域住民が避難した当時の状況を学び、自然災害の恐ろしさと命を守るための判断の重要性を実感しました。震災の記憶を風化させることなく、次世代へ伝えていくことの大切さも強く感じました。

研究集会では、宮城・岩手・福島の被災地で活動する実践者によるトークセッションが行われました。子育て支援やコミュニティづくり、被災者支援、震災伝承など、それぞれの立場から復興に向けた取り組みが紹介されました。発表者からは、復興は単に建物やインフラを整備することではなく、人と人とのつながりを再構築し、地域の支え合いを育むことが重要であるとの提起がなされました。

今回の研修と研究集会を通じて、災害への備えは行政や専門機関だけでなく、地域住民やさまざまな団体・組織が連携しながら進めていくことの重要性を改めて認識しました。特に、被災地の実践者から繰り返し語られた「人と人とのつながり」は、復興のみならず防災・減災の基盤となるものです。平時から顔の見える関係を築き、支え合える地域づくりを進めることが、災害に強い社会につながります。今回の学びを今後の活動に活かし、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを進めていきたいと思います。（くらしサポートセンターしが大津所長　村上大介）

令和8年 夏の交通安全県民運動

実施期間：令和8年7月15日（水）～7月24日（金）

運動の重点：
①横断歩道利用者ファースト運動の推進などによる歩行者の安全の確保
②自転車・特定小型原動機付自転車（電動キックボードなどの小型モビリティ）の交通ルールの理解・遵守の徹底
③飲酒運転・ながらスマホ等の危険運転の根絶

◆会員団体 一覧◆

日本労働組合総連合会滋賀県連合会	株式会社セイキョーホーム	近江八幡地方労働者福祉協議会
近畿労働金庫滋賀地区本部	大津地区労働者福祉協議会	東近江労働者福祉協議会
こくみん共済coop滋賀推進本部	草津栗東地区労働者福祉協議会	彦根地区労働者福祉協議会
滋賀県勤労者住宅生活協同組合	守山野洲地区労働者福祉協議会	湖北地域労働者福祉協議会
滋賀県生活協同組合連合会	湖南甲賀地区労働者福祉協議会	高島労働者福祉協議会
ユメディア株式会社		

◆（一社）滋賀県労働福祉協議会 第18期 役員　一覧◆

会長	白木　宏司	専務理事（兼事務局長）		理事	太田　恵	理事	山中　幸次
副会長	佐賀　春樹		山本　俊夫	理事	村田　浩幸	監事	伴　幸士
副会長	池内　正博	理事	白﨑　直樹	理事	松元　光彦	監事	南園　晴司
副会長	清水　卓也	理事	師玉憲治郎	理事	森井　徹		

◆くらしサポートセンターしが地区センター 所長一覧◆

大津	村上　大介	彦根	相澤三千代	守山	吉村　蔵志	近江八幡	平塚　雄二

お知らせ

「子ども文化教室」・「生活応援セミナー」を楽しみにしてくださっている皆さまへお知らせです。

滋賀県労福協は、本年度、設立70周年を迎えることとなりました。これまで支えてくださった地域の皆さまと、これからも“つながり合い、支え合う”輪を広げていきたいという思いから、2026年11月23日（月・祝）に、労働者による大イベント『つながる！しが福祉フェスタ』を開催いたします。本年度は毎年実施する「子ども文化教室」および「生活応援セミナー」の開催をお休みし、子どもから大人までどなたでも気軽に参加できる、暮らしに役立つ企画や子どもたちが楽しく体験できるコーナーなどをご用意しています。

ぜひ、「草津市立滋賀トヨタアリーナ」で開催する『つながる！しが福祉フェスタ』へお越しください。

皆さまにとって新しい出会いや学び、笑顔につながる一日となるよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

↑ライン登録お願いします！

（一社）滋賀県労働福祉協議会　〒520-0806　大津市打出浜2番1号　コラボしが21 6階
URL https://www.s-rofuku.com/　TEL077-524-6290　FAX077-523-4070